

一般財団法人 志星学園 北海道歯科技術専門学校

令和6年度 学校評価委員会 報告書

日 時：令和7年3月28日（金） 14：00～14：52

会 場：北海道歯科技術専門学校

参加者：学校評価委員会 委員

北海道歯科技術専門学校	理事長	白川 満久
北海道歯科技術専門学校	校長	岩崎 佳治
北海道歯科技術専門学校	教務部長	澁谷 聡
北海道歯科技術専門学校	研究科長	今村 幸四郎
北海道大学病院 生体技工部	技工士長	道田 共博
(有) デンタルサプライ千歳ラボ	所 長	後藤 彰雄

● 自己点検評価項目と内容

1. 教育理念・目標

本校の教育理念は、①医療人としての人格形成、②基礎技術の完全修得、③卒業後臨床に即応できる応用技術の習得である。本校では本科2年間の教育期間において、歯科医療を支える基本的な知識・技術及び医療人としての心を修得させ、本校の教育理念・目標の実現に努めている。

教育理念・目標及び育成人材像等については、学費の負担者である保護者にも理解して頂き、学校の教育活動にもご支援頂くことが重要であり、入学式の説明会で関連書類を配布し周知に努めた。また、学校案内やHPにも掲載することでより一層の周知が図られており、自己点検の結果は適切であると評価した。

2. 学校運営

事業計画や予算に関しては、主に理事会や評議員会で協議し、その運営状況なども学校ホームページ（情報公開）にて適切に公開されている点から、自己点検の結果は適切であると評価した。今後も学校情報や教育活動について継続して公開してほしいと意見があった。

3. 教育活動

本校の教育理念に基づいて、将来、社会的・職業的に自立し、社会に貢献するための実力を修得できるキャリア教育を推進するために、実践的な職業教育的視点に立った授業カリキュラムや国家試験対策に重点を置いたカリキュラムを担当教員が立案し教職員会議で検討を行うことで、授業の質の向上を目標にしてきた。

今年度は全国歯科技工士教育協議会の北海道歯科技工士養成機関連絡協議会が主催する研修会に参加させ教員の資質向上に努めている。今後も各種研修会へ参加できる体制を整え学生教育に活かしてほしいとの意見があった。

4. 学修成果

全国模擬試験結果において、10年連続で全国の歯科技工士養成校の中で第一位の成績を修めることができ、国家試験合格率及び就職率も100%を達成できた。また、前年度改善を求められた退学者の減少については、残念ながら体調不良による退学者が出てしまったが、諦めてリタイア

する者は出ておらず、昨今の歯科業界の人手不足の観点から今後も教育活動を通じて歯科技工士の重要性を学生に共有していったほしいと意見があった。

5. 学生支援

学生への定期的な面談を実施し、学校全体で情報の共有を行い、問題の早期解決を図っている。また、保護者への成績通知や学生の状況報告等の連絡を密に行うことで学生のサポートを行ってきた。また、卒業生から就職に関する問い合わせがあった際には、就職先を斡旋し就職サポートセンターとしての機能も十分に発揮できている点から、自己点検の結果は例年同様に適切であると評価した。

本校では在校生のみならず、卒業生にも交流の場を設けており学術講演会や新人歓迎会等を毎年行い歯科技工に関する情報の提供を行っている。卒業生にとっても様々な年代の方と交流が持つ重要な役割を担っていると考えられるため、今後も活発な活動を期待したいと意見があった。

6. 教育環境

授業時に使用する実習帳等の教材は適正に提供されている。また、学内の Wi-Fi 環境を整備しており、学校から貸与されたタブレット端末を使用して AI ツールを活用した教育を実施している。附属研究科には CAD/CAM システムを設置し、歯学部を有する大学とも共同で実習を行い、技術だけではなくコミュニケーション能力も向上できるように授業が組まれている。そのため、学生が最新の設備を有する企業に就職後も即戦力として対応できるようカリキュラムを充実させている。また、年に一度の防災訓練を行っており災害時の対策に努めている。しかし、校舎及び設備面の老朽化が目立つ点から整備が必要であると意見があり、適宜機械の買い替えを実施し環境整備に努めている点から自己点検の結果は適切であると評価した。

7. 学生の受け入れ募集

入学希望者への情報提供として、10 回/年のオープンキャンパスの開催と進学相談会等の参加により、歯科技工士という職業の内容を対象者に適切に提供している点から、自己点検結果は例年通り適切であると評価した。SNS を通じた情報発信、学生募集をより積極的に行い歯科技工士の魅力を多くの人へ発信して職業の周知、入学者の増加に繋げていきたいと意見があった。

8. 財 務

入学者数が減少傾向にあり、学納金の減収となっており収支バランスを考慮した予算収支計画等は法人理事会で策定・管理されているが厳しい状況である。これらの詳細は公認会計士による会計監査を受けており、自己点検の結果、適正な財務状況であると評価した。また、学生募集の充実、退学者ゼロを目指し財政安定化に努めたいと意見があった。

9. 法令等の遵守

学校教育法の専修学校設置基準や歯科技工士学校養成所指定規則などに定める設置基準や運営方法さらに教職員資格に関わる法令も遵守しており、自己点検の結果は適切であると評価した。

10. 社会貢献・地域情報

社会貢献の一環として歯科技工士としての職業の認知度を上げるために、年に数回の啓発活動を実施している。また、研究所において一般歯科技工士を対象とした実技講習会を実施し、歯科医療業界への貢献も行われている。さらに歯科技工士の職業体験を希望される中学生へは、業務内容や体験実習を行っていることから自己点検の結果、適切に実施されていると評価した。